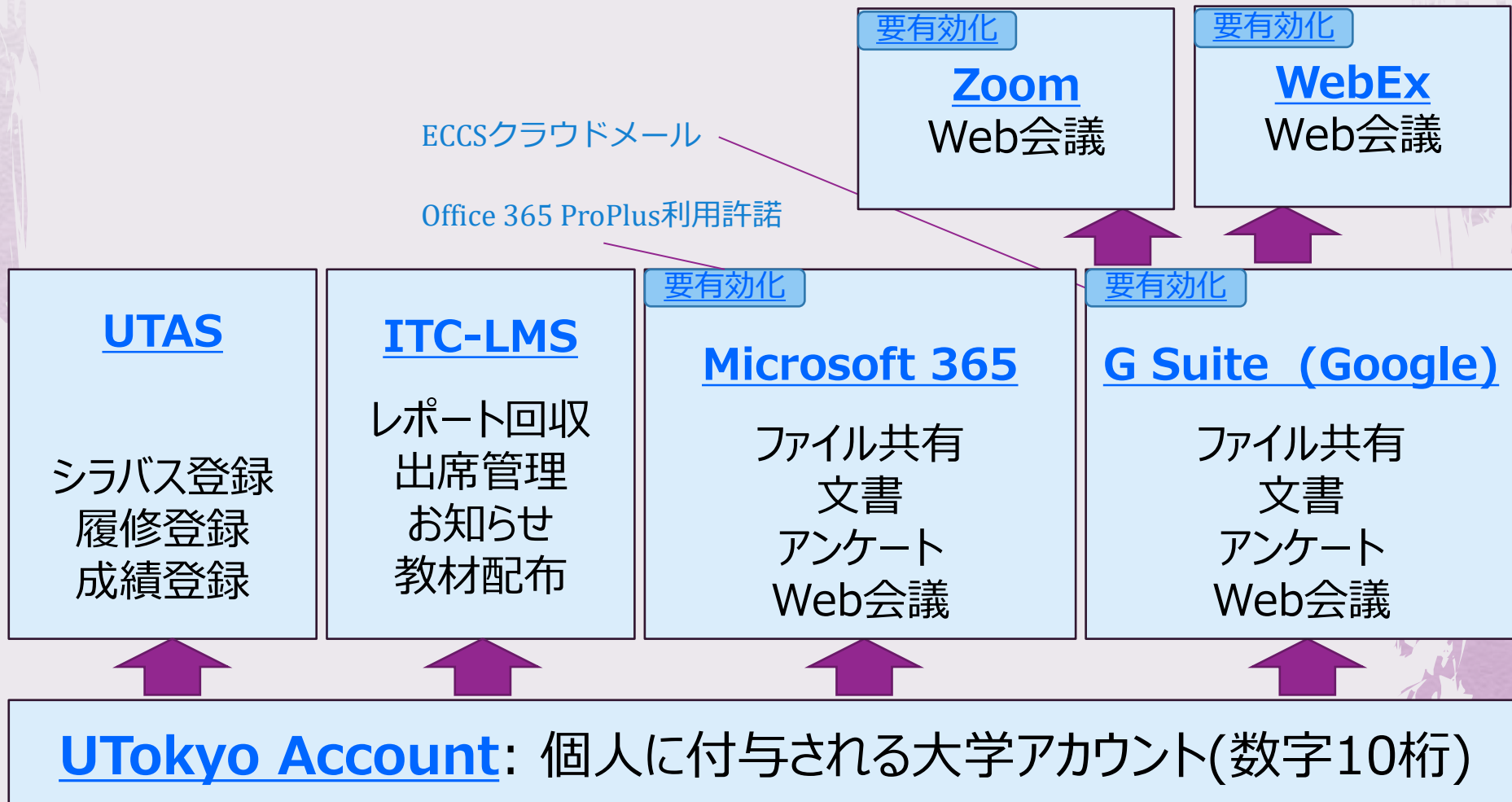


授業に必要なICTシステムの概要

情報基盤センター 田浦健次郎



概要



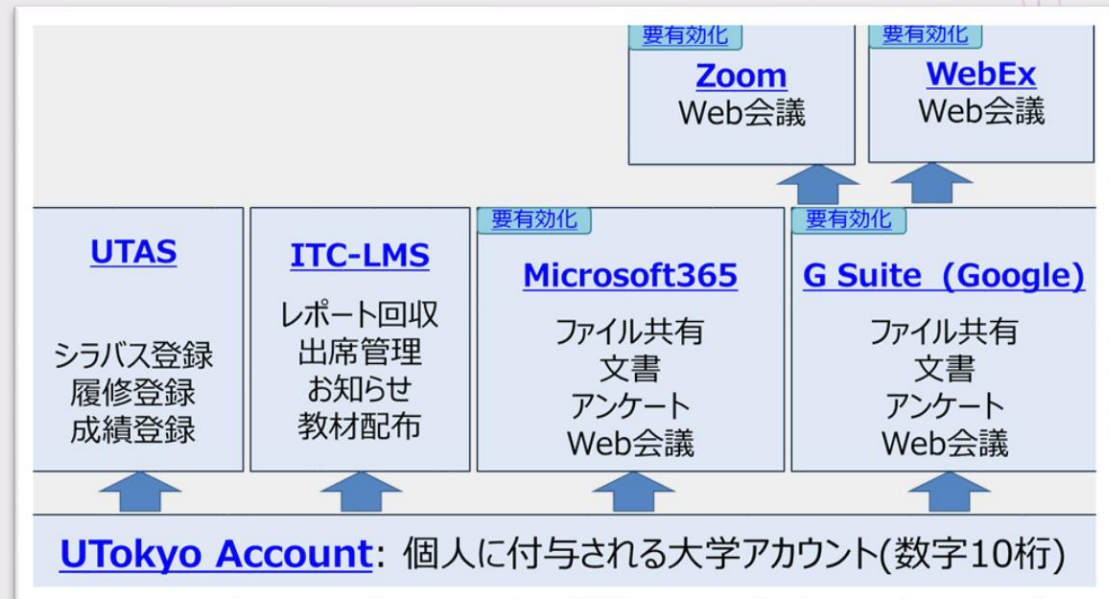
始める前に

- ◆ 様々な情報はサイト
<https://utelecon.github.io/> へ集約を目指しています
- ◆ 現在、Sセメスタ準備当初のものが多数残っていますがAセメスタ用に整理します（おそらくこの会の直後から）
- ◆ 検索ボックスとプルダウンメニューを使いこなすとよく見つかります

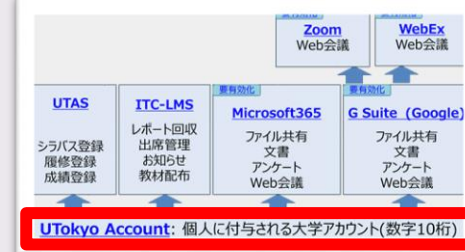


以降の内容

- ◆ UTokyo Account
- ◆ UTASとITC-LMS
- ◆ Microsoft 365とG Suite (Google)
- ◆ ZoomとWebEx



UTokyo Account



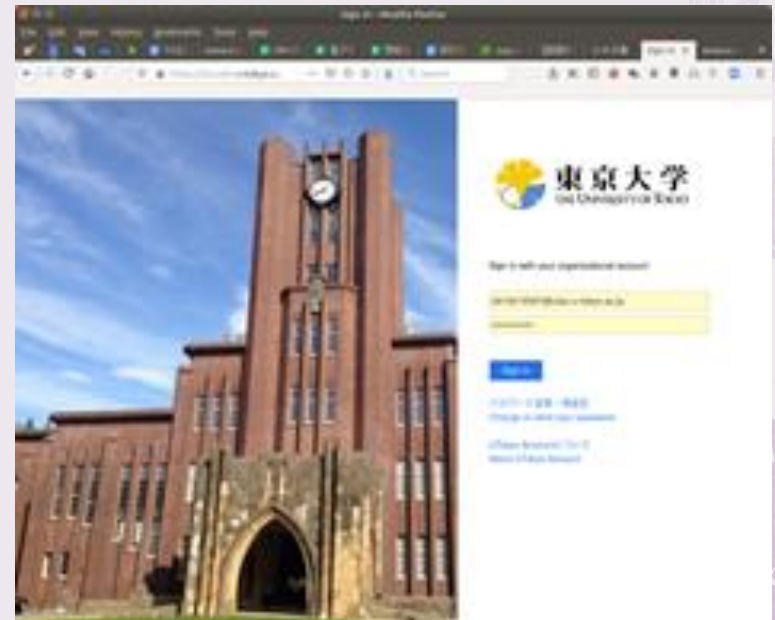
◆ はじめにUTokyo Accountありき

◆ すべてのサービスの根っこ

- ◆ 大学アカウントでZoomを主催
- ◆ シラバスや成績を（自分で）登録（UTAS）
- ◆ 授業URLの通知やレポート回収でLMSを使う

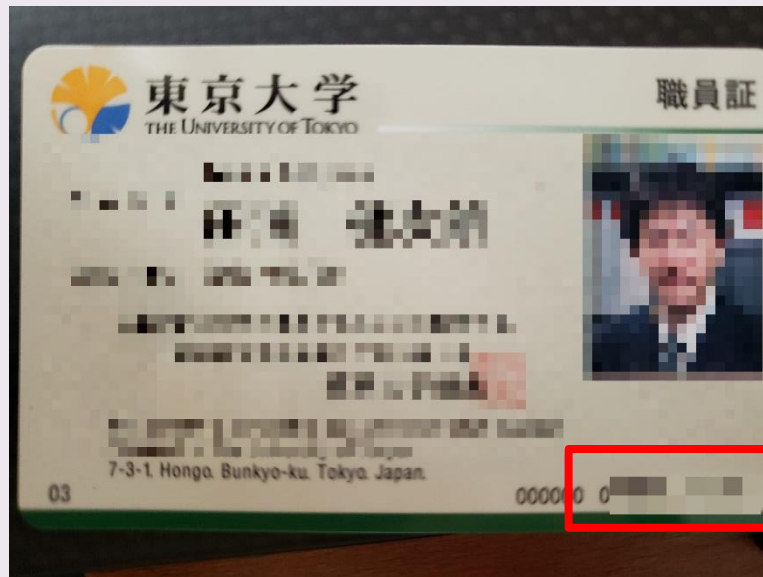
◆ ...

すべてに必要



UTokyo Accountの正体

- ◆ 10桁の数字です
 - ◆ 2519285617 みたいな
- ◆ 常勤教職員全員に発行され、身分証明証に書かれています



ココ

非常勤の場合

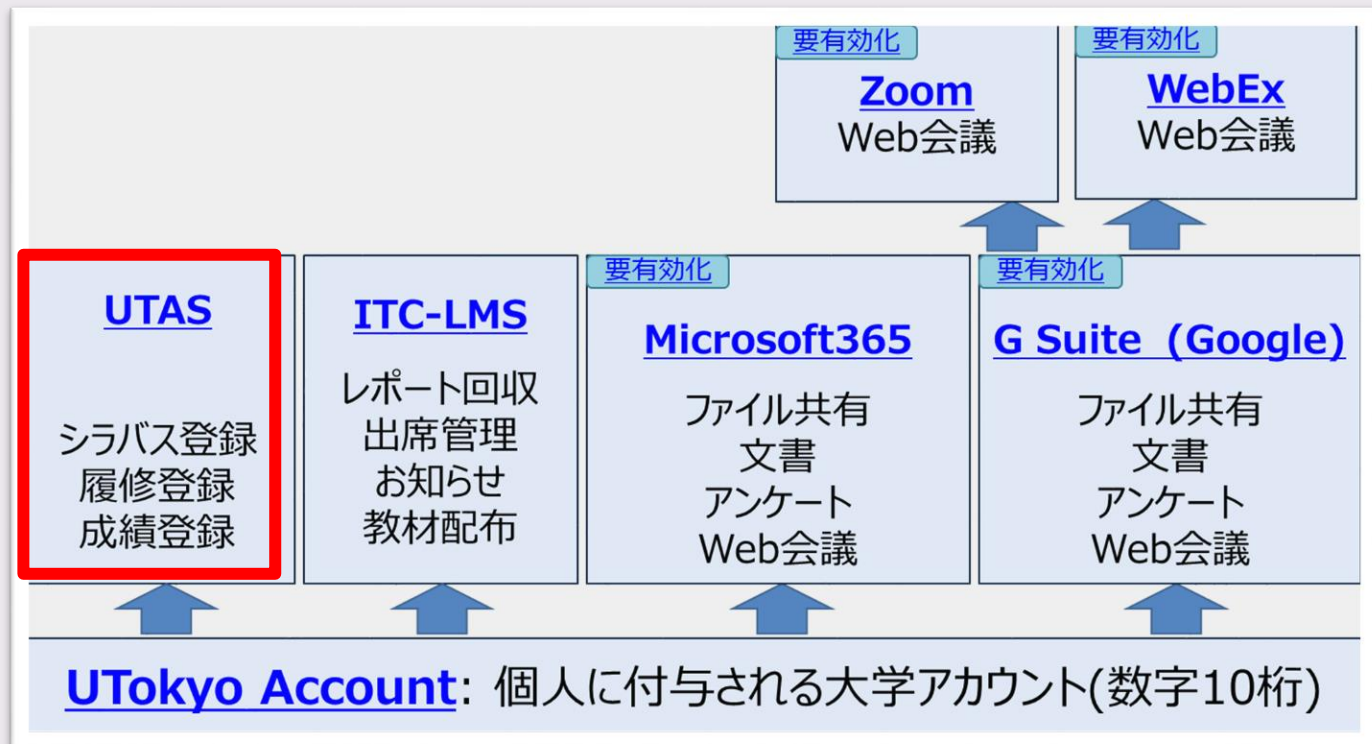
- ◆ 常勤・非常勤問わず、授業に必要なならば割り当てるのが基本です
- ◆ 非常勤（あるいはアレンジご担当）の先生へ：必要なのに割り当てられていないということがあったら、事務へご連絡ください
 - ◆ 必要な例：シラバス登録、成績をつける、LMSで課題を出す、Zoom授業をホストする、etc.
 - ◆ 不要な例：ホストの先生に招かれてゲスト講演をする（だけ）
- ◆ 専攻・部局事務のみなさま：必要な先生には割り当てるようお願いします

2020年9月入学の学生への発行

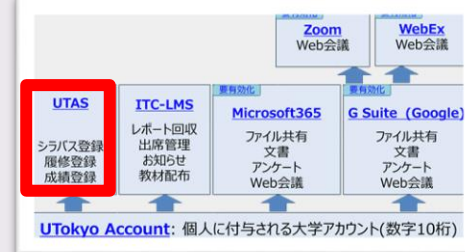
◆ 研究科・専攻事務の皆様

- ◆ 9月からの新入生がUTAS, ITC-LMS, Zoomなどの利用準備ができるよう、**UTokyo Accountの早めの発行**をお願いします
- ◆ 9/8付け 本部学務課教務チーム → 各学部・研究科(教育部)教務担当者
 - ◆ 年次処理とは別に、新入生の学籍データを未作成の部局等は早急に作成いただき、UTokyo Accountの発行作業を進めてください。

UTAS



UTAS



◆ 学務システム

◆ ログイン

- ◆ <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>

- ◆ UTokyo Account で

◆ 教員

- ◆ シラバス登録

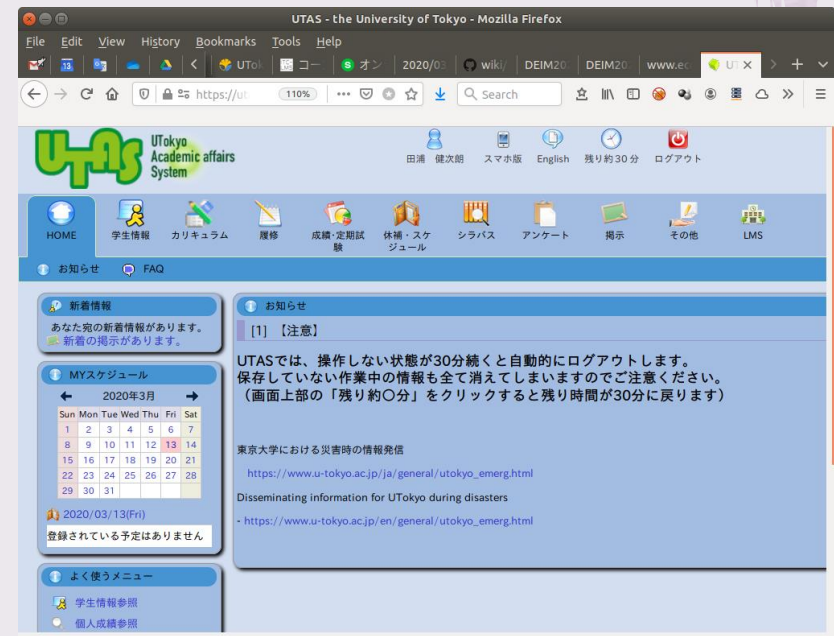
- ◆ 成績登録

◆ 学生

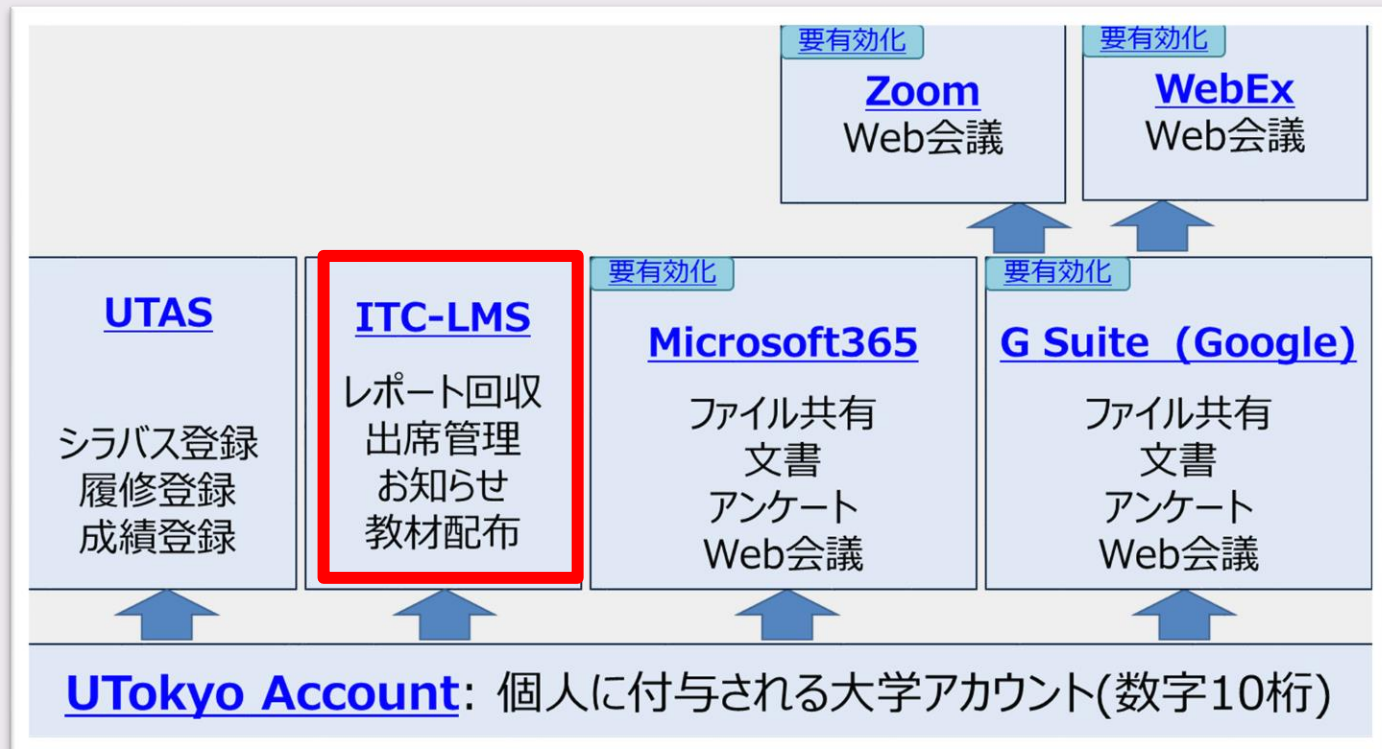
- ◆ シラバス検索・閲覧

- ◆ 履修登録

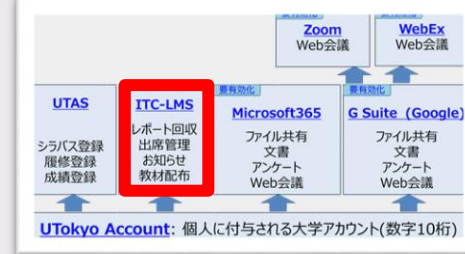
- ◆ 成績確認



ITC-LMS



ITC-LMS



◆ 学習管理システム

◆ ログイン

◆ <https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/>

◆ UTokyo Account で

◆ 機能

◆ 出席管理

◆ 学生と教員、学生同士のやり取り

◆ 課題を出してレポート回収

◆ テスト

◆ 授業URLを知らせる

◆ 詳しくはChapter 3（柴山）で




Two screenshots of the ITC-LMS interface. The top screenshot shows the login page with a 'Login' button. The bottom screenshot shows the main dashboard with a calendar view for the week of September 1st to 7th, 2020. The calendar lists various courses and activities, including 'プログラミング言語' and '初年度ゼミナール履修'.

そもそもLMSとは

- ◆ 一般にLMS（学習管理システム）は以下のような、これがないと意外に面倒なことをやってくれるシステム
 - ◆ クラスのメンバーと連絡を取る
 - ◆ クラスのメンバーにファイル（課題など）を配る
 - ◆ クラスのメンバーからファイル（レポート提出など）を受け取る
 - ◆ 課題の提出状況一覧を見る
- ◆ ITC-LMSではクラスのメンバーの登録も、教員がやる必要がない（履修学生を登録してくれる）

UTASとITC-LMSが両方あるのはわかりにくいのでは?

- ◆ はい 
- ◆ 今のところは以下のような区別とお考え下さい...
- ◆ **UTAS** : 学期前、学期後の処理
 - ◆ シラバス登録、成績登録
- ◆ **ITC-LMS** : 学期（授業）中の支援
 - ◆ 出席、レポート回収、etc.
- ◆ 覚え方、方便であって分かれていることを正当化しているではありません

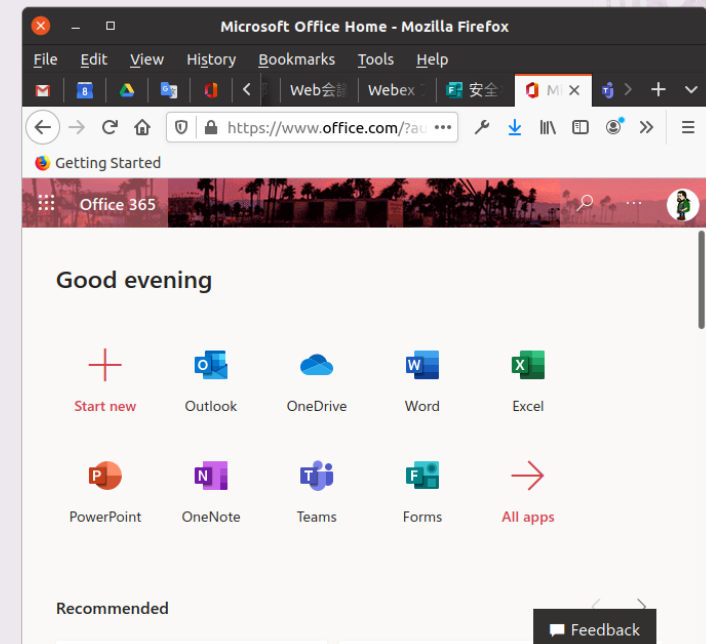
Microsoft 365



Microsoft 365



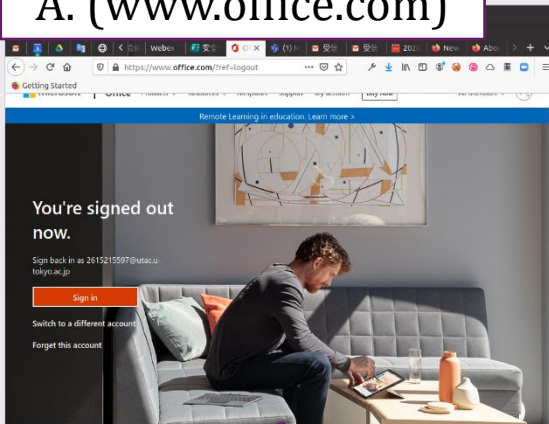
- ◆ 有効化（初めて使うとき）
 - ◆ UTokyo Account利用者メニュー → Office 365 ProPlus利用許諾
 - ◆ <https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ◆ サインイン
 - ◆ <https://www.office.com/>
 - ◆ UTokyo Account（罫あり; 次スライド）
- ◆ 機能
 - ◆ ファイル共有: OneDrive
 - ◆ 文書作成: Word, Excel, PowerPoint
 - ◆ アンケート: Forms
 - ◆ Web会議, chat, etc.: Teams
 - ◆ LMS的機能: Class Notebook



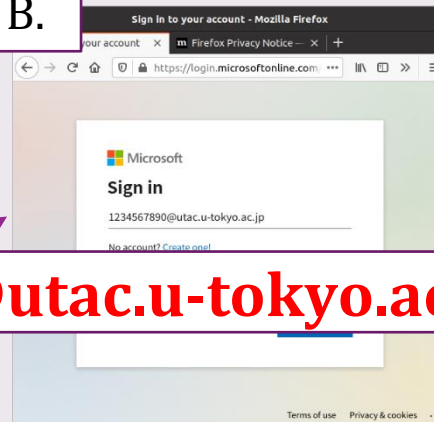
Microsoftサインイン時の罠

- ◆ A. サインイン画面からB. Microsoftの画面を経由する場合と C. UTokyo Account認証画面に行く場合がある
 - ◆ B.では **..@utac.u-tokyo.ac.jp** を打ち込む (tips: 実は @の前はどうでもいい)

A. (www.office.com)

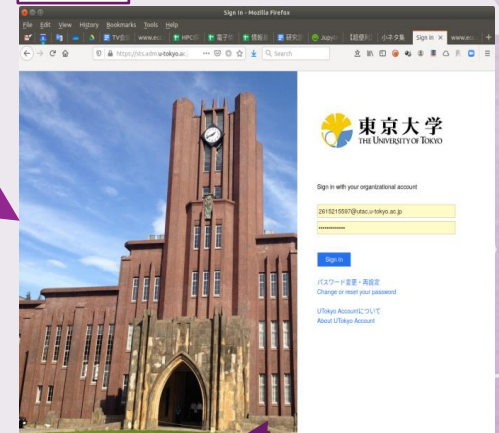


B.



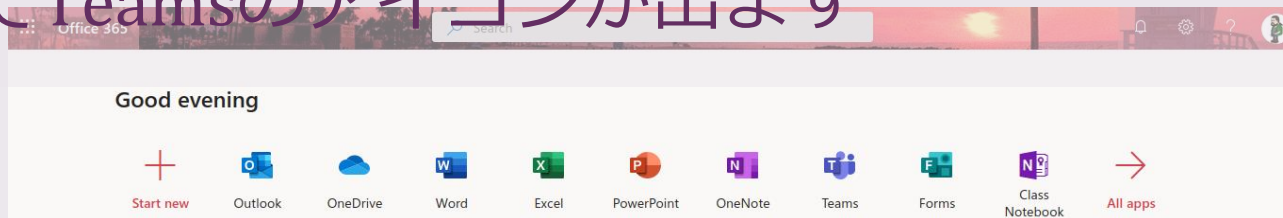
...@utac.u-tokyo.ac.jp

C.



夏学期当初からのサービス変更

- ◆ Microsoft OneDriveで組織外とのファイル共有を可能にしました
- ◆ それによりMicrosoft OneDriveでファイルのアップロード機能が有効になりました
 - ◆ フォルダ上を右クリック → ファイルをリクエスト
 - ◆ 組織外の人（e.g., 受験生）からの答案回収
- ◆ Teamsを教職員向けに有効にしました
 - ◆ サインイン後の画面でその他のアイコンとならんでTeamsのアイコンが出ます




G Suite (Google)



G Suite (Google)

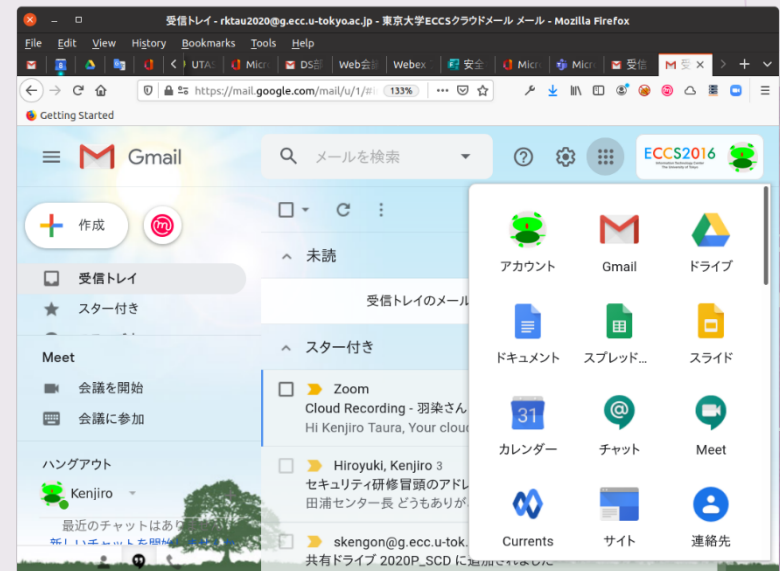


- ◆ G Suite ≈ 組織で契約するGoogleサービス
- ◆ 本学が契約しているG Suite = ECCSクラウドメール
 - ◆ G Suiteは様々なアプリの集合で、〇〇メールという呼び方はややミスマッチ 
- ◆ 有効化
 - ◆ UTokyo Account利用者メニュー → ECCSクラウドメール
 - ◆ <https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ◆ サインイン
 - ◆ <https://mail.google.com/a/g.ecc.u-tokyo.ac.jp>
 - ◆ アカウント名 xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
 - ◆ xxxx部分、パスワード: 自分で設定

G Suite機能



- ◆ ファイル共有: Google Drive
- ◆ 文書作成: Google Document, Spreadsheet, Presentation
- ◆ アンケート: Google フォーム
- ◆ Web会議: Google Meet
- ◆ LMS的機能: Google Classroom



M と G 整理

	M社	G社
ファイル共有	OneDrive	Google Drive
オフィス系ソフト	Word, Excel, PowerPoint	Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド
Web会議	Teams（教職員のみ）	Google Meet
アンケート・クイズ	MS Forms	Google Form
LMS相当機能	Class Notebook	Google Classroom
本学アカウント	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

- ◆ 知っておくべき大きな違いはGoogleサービスが中国からアクセスできないこと

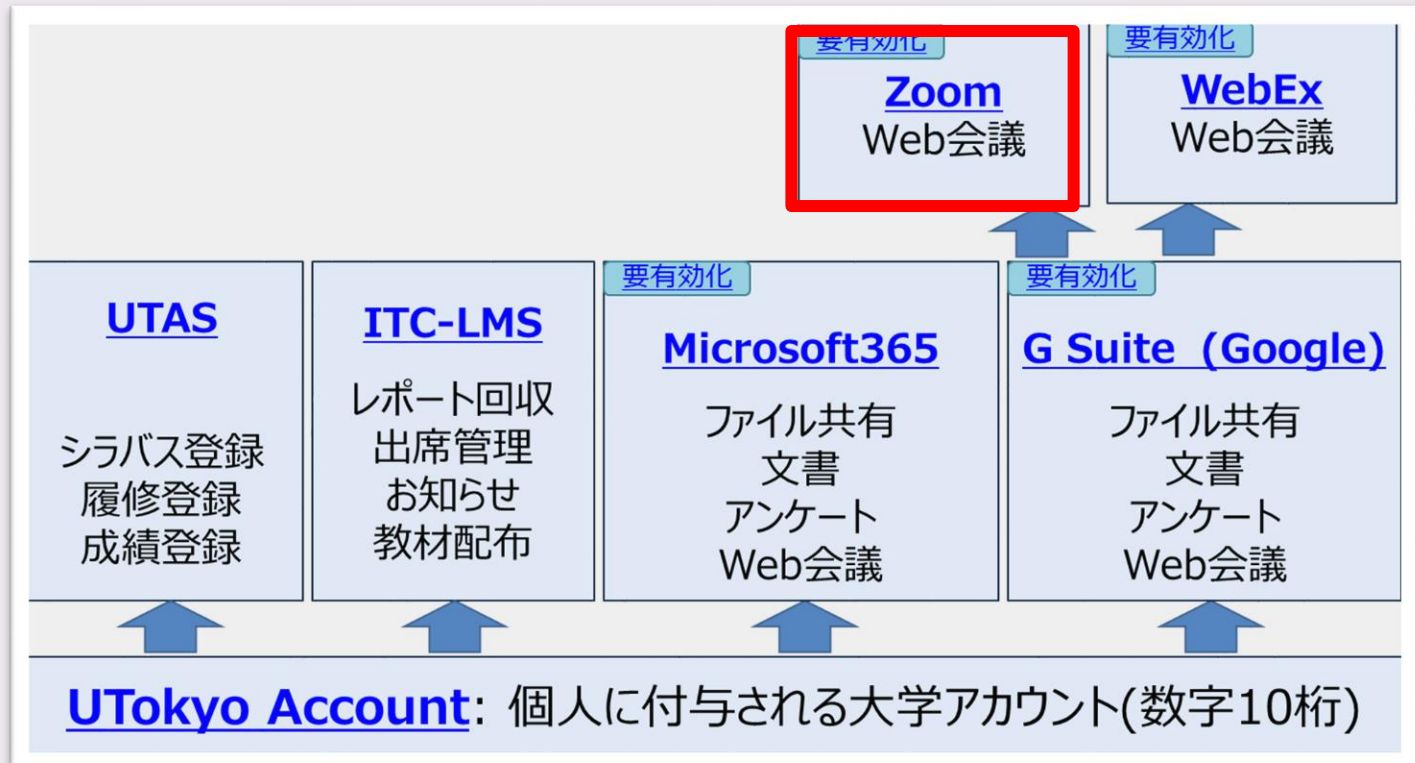
MとG大学組織契約の存在価値

- ◆ 大学内の不特定多数の人と情報を共有
- ◆ ファイル共有を安全に、うまく使えば授業以外の業務効率化もできます
 - ◆ 共有範囲
 - ◆ 特定の人を名指しして共有
 - ◆ 組織内なら誰でも
 - ◆ 誰でも
 - ◆ 検索で見つかるか否か（Google）
 - ◆ ダウンロード可・不可

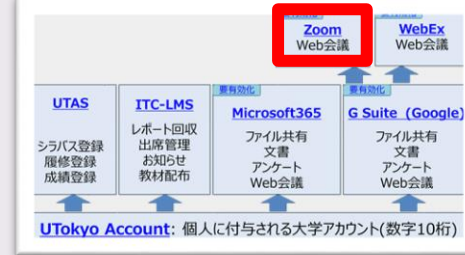
安全な情報共有のために

- ◆ スマホがある人は: G Suite 2要素認証設定
 - ◆ Googleにサインイン→ Googleアカウントを管理→セキュリティ
 - ◆ Microsoftは現在できませんができるように準備中です
- ◆ 常に「リンクを共有」ではなく「特定の人とのみ共有」が使える場面では使う(少人数)

Zoom



Zoom



◆ 有効化

- ◆ https://utelecon.github.io/zoom/create_account
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp をメールアドレスに指定してください（10桁: UTokyo AccountのID）

◆ サインイン

- ◆ <https://zoom.us/>
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jpで

Zoomアカウントの今後

- ◆ Zoomアカウント名（サインイン用メールアドレス）
- ◆ 大規模会議、ウェビナー
- ◆ Zoom App Marketplaceについて
- ◆ [説明ページ](#)

Zoomアカウント名（サインイン用メールアドレス）について

- ◆ 以降、10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp のみを有効な Zoomアカウント名（サイン用メールアドレス）とします
 - ◆ そうでない場合は変更してください
- ◆ 現在は任意の xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp で使えてしまいますが非公式です
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp でない人には、お知らせを流しますが、なくてもお早目の対応をお願いします。方法：
 - ◆ <https://zoom.us/profile>ページのSign-In Email

大規模会議とウェビナー

- ◆ 現在：以下が全員に付与されている
 - ◆ 大規模会議（500人収容）
 - ◆ ウェビナー（500人収容）
- ◆ → 変更後：
 - ◆ 大規模会議（500人収容）300アカウントまで
 - ◆ ウェビナー（500人収容）50アカウントまで
 - ◆ ウェビナー（3000人収容）若干

大規模会議、ウェビナーの運用 (割り当てポリシー)


- ◆ 大規模会議：授業に必要な先生のアカウントには常時割り当てる

- ◆ 説明

- ◆ ウェビナー：必要なイベントに、必要な期間中のみ割り当てる

- ◆ 説明

Q.「変更」はいつ起きるか

- ◆ 8/1 → 8/8 → 9/15 → 未定（二転三転）
 - ◆ 9/11 現在、Zoomのアカウント管理画面の不具合により作業が不可能になっている
- ◆ 「変更の日」にかかわらずZoomで大規模会議の開催、ウェビナーが必要な場合、**今のうちに申し込み**をお願いします（前スライドのリンクより）
- ◆ 変更に関立って申し込みすれば変更の日に影響はありません

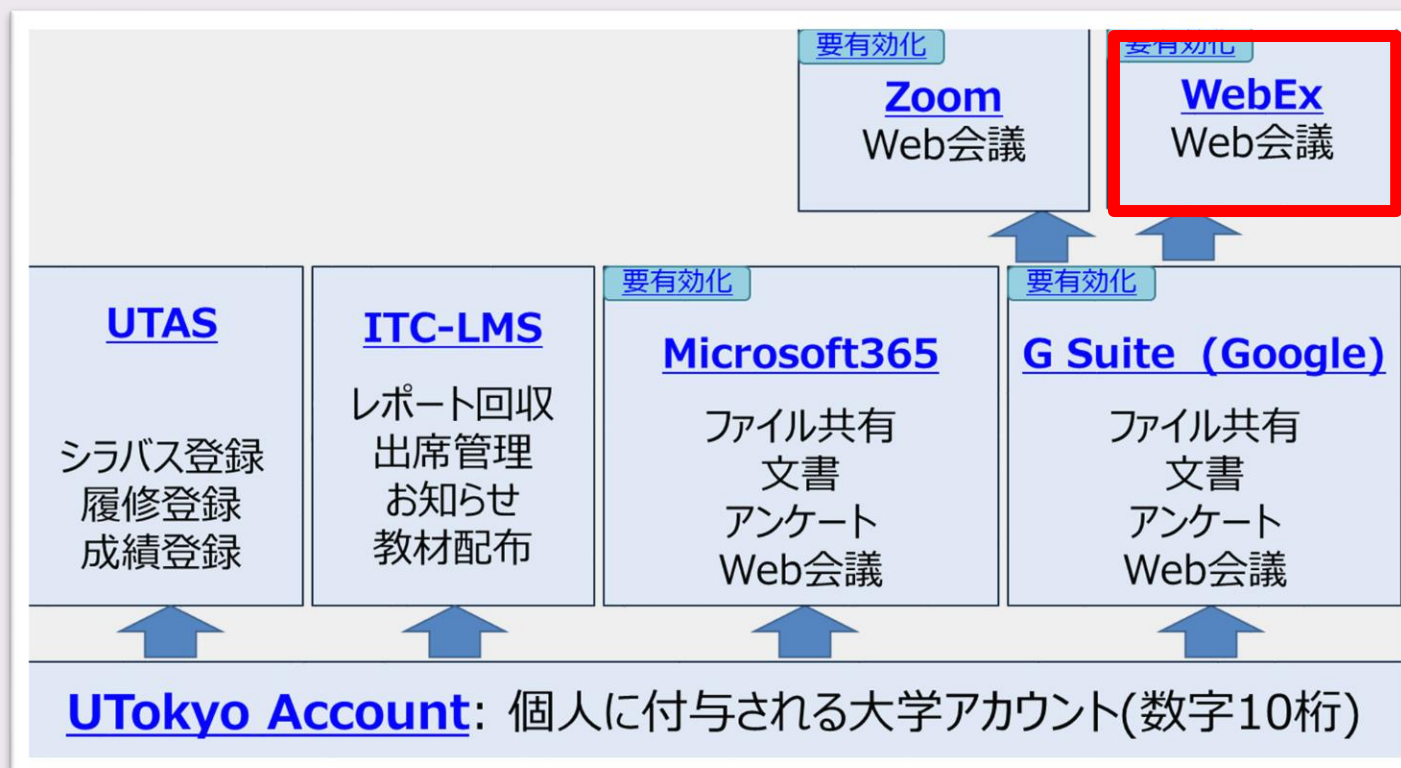
Zoom App Marketplace

- ◆ Zoomと連携する様々なアプリケーション
 - ◆ 翻訳
 - ◆ 文字おこし
 - ◆ Email, Slackなどとの連携
 - ◆ など
- ◆ ユーザが使うには**管理者の承認 (Pre-Approve)**が必要
- ◆ セキュリティへの潜在的懸念 (reviewの必要)、管理 (問題が見つかったアプリの利用停止など) のリソースがなく承認をしてきませんでした、**今後承認・管理方式をしていく方向です**

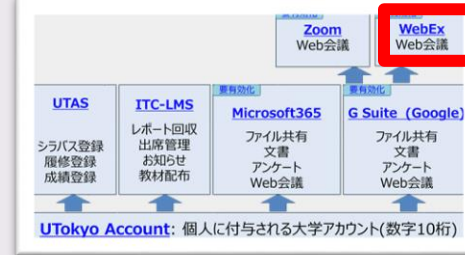
FAQ

- ◆ Zoomを授業以外のことに使ってもよいのか?
 - ◆ 授業に限定していません
 - ◆ 本学の教育研究、本学構成員としての職務のためであればOK
 - ◆ 明文化された利用規定は今後
- ◆ 大規模会議ライセンスは授業以外にも割り当ててもらえるのか?
 - ◆ ウェビナー同様一時的に割り当てます
 - ◆ WebExの利用もご検討ください

WebEx



WebEx



◆ 有効化

- ◆ https://utelecon.github.io/webex/create_utelecon_account

◆ サインイン

- ◆ <https://utelecon.webex.com/>

◆ 機能

- ◆ WebEx Meeting (1000人まで) ≈ Zoom Meeting
- ◆ WebEx Events (1000人まで) ≈ Zoom Webinar

Web会議比較

	Zoom	WebEx	Meet	Teams
デフォルト収容人数	300	1000	250	300
国境問題	中国でアプリ提供停止		中国から使えない	
E2E 暗号化		○		
同時に複数開催		○	○	○
待機室	○			○
手上げ	○	○		○
投票	○			

- ◆ 人数の大きい会議にはWebExもお考え下さい
- ◆ 機密性が重要な会議にもWebEx (Encrypted Meeting)をお考え下さい
- ◆ Meet 10月から新機能追加 <https://japan.googleblog.com/2020/08/google-for-education.html>

アカウントのまとめ

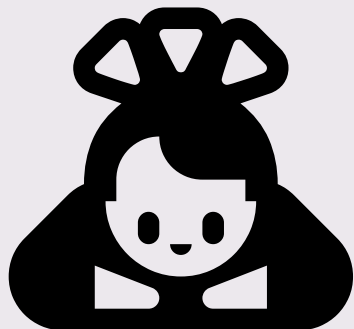
UTAS	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)
ITC-LMS	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)
Microsoft 365	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)(*)
G Suite	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
Zoom	10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
WebEx	10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
UTokyo Account 利用者メニュー (Microsoft 365, G Suiteの有効化、UTokyo Accountパスワード変更)	10桁
UTokyo Account パスワードリセット	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

パスワード連動

- ◆ (*) Microsoft Sign-In画面では @utac 以降が必須 (@以前はいつでもよい)

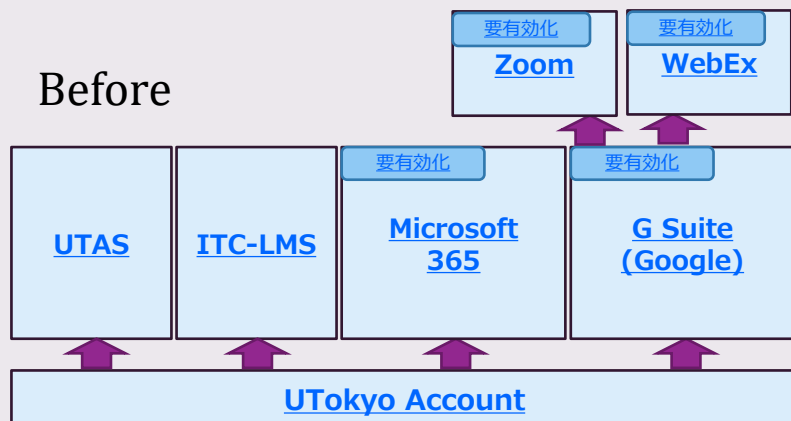
Q. ややこしすぎませんか？

◆ はい



◆ 改善（アカウントの統一・連携）に向けた努力をしています

Before



After

